

事業活動と事業キャッシュフロー

HCアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者
加入協会

関東財務局長（金商）第430号
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人投資信託協会

<https://www.fromhc.com>

2025.5.27

人+産業金融=成長
成長を支える投資の原点へ

概要

事業価値と資本構成

事業価値は、企業の営む全事業が創造する現金の現在価値であり、資本構成はその配分の仕組みに該当する。資本構成は企業価値や事業価値には影響せず、資本構成の多様化は、投資家の選択肢の拡大を意味するにすぎない。

キャッシュフローの分配

企業は事業活動を通じてキャッシュフローを生み出す仕組み。企業の売上（キャッシュフロー）は、順次、優先順位に従って、利害関係者（ステークホルダー）に分配される。優先順位の第一には売掛金やリース料など取引先への支払い、第二には従業員への報酬の支払い、そしてその次に投資家への分配となる。資本構成のみならず、原価、販管費の対象は投資対象であり、企業の状況に応じた選択が求められる。

インカムとリスク

投資家が受け取る事業キャッシュフローの分配（インカム）を毀損する可能性をリスクという。リスクの大きさは事業キャッシュフローの質の高さと、資本構成における優先順位の高さによって決定されると言える。

リース

企業が事業に必要な資産を保有せず、資産保有者と利用契約を結ぶことを言う。本社等の不動産、航空会社の航空機リース、輸送会社の車両など、多様な対象がある。企業にとっては資金の効率化やアセットライトにつながり、投資家にとっては企業の原価に対する投資資産となる。企業にとって上位の費用であるほど投資家の期待リターンは高い。

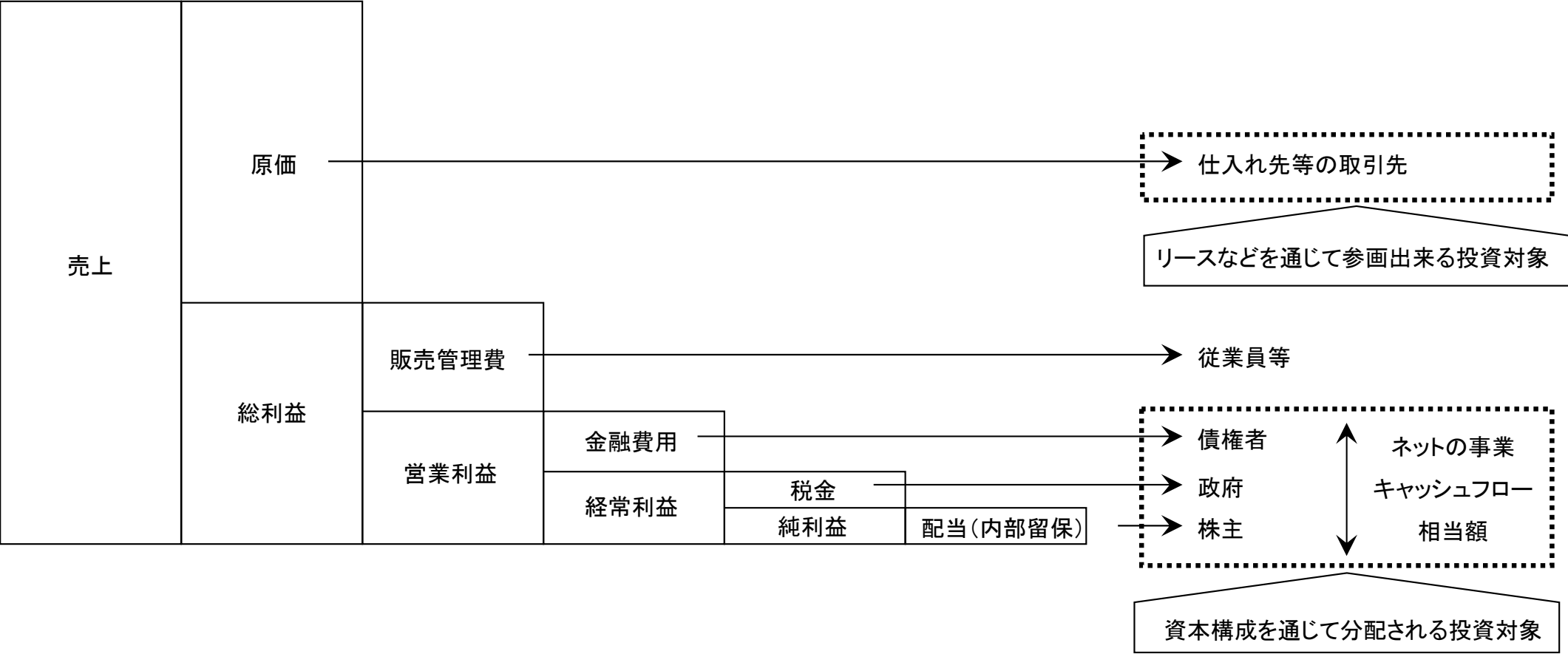
内部留保と配当

企業には、事業が創出した現金を投資家に分配するほか、事業投資するために内部留保する選択肢がある。企業の成長性が高ければ、内部留保によって創出する現金の量を増やしてもらうほうが投資家有利になる。逆に、内部留保金を上手に再投資できない企業であれば、配当還元を求める声が高まるといえる。危機対応としての現金を保有するよりも、資金調達の柔軟性を確保するほうが効率的ともいえる。

用語集もご参照ください <https://www.fromhc.com/glossary/>

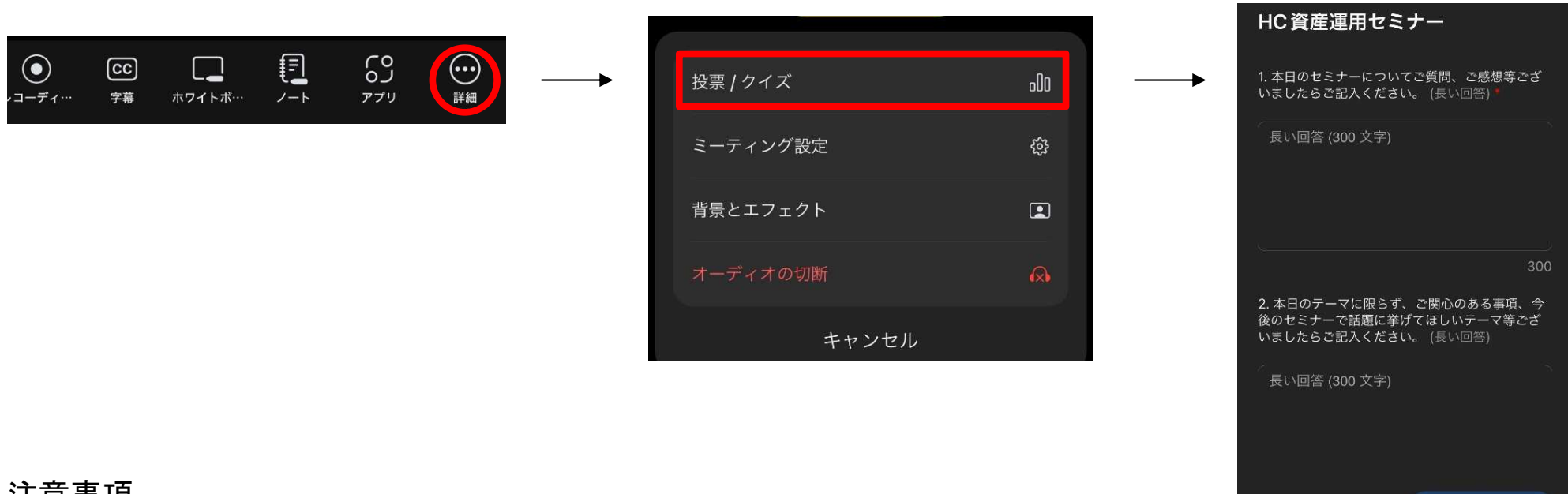
事業キャッシュフローを分配する仕組みと資本構成

- ⇒ 企業の売上げ(キャッシュフロー)は、順次、優先順位に従って、利害関係者に分配される。この利害関係者は、ステークホルダー(stake holder)と呼ばれる。
- ⇒ 営業利益の分配が、投資の領域である。この分配の仕組みが、資本構成(キャピタルストラクチャ)である。



講演後アンケート/注意事項

今後の運営に活かしたく、ご質問やご意見、ご感想、ご興味あるテーマなどを承っておりますので、ご自由にご意見をお寄せください。
回答方法: 各セミナー講演途上でZoom上で配信します。配信後は一度閉じた場合でも、以下の通り詳細から再表示できます。



注意事項

- 本セミナーは、資本市場における種々の投資対象や投資に関する概念等について解説・検討を行うものであり、当社が行う金融商品取引業の内容に関する情報提供及び関連する特定の金融商品等の勧誘を行うものではありません。
- 本資料中のいかなる内容も将来の投資成果及び将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 本資料の著作権その他知的財産権は当社に帰属し、当社の事前の許可なく、本資料を第三者に交付することや記載された内容を転用することは固く禁じます。